



気仙沼 恋人 スポット

「恋人」
発祥の地!



sokoage Youth

岩井崎 iwai saki

岩井崎は、松林に囲まれた気仙沼屈指の美しい岬です。波が打ち寄せる度に潮を吹き上げる潮吹岩があります。その辺り一帯の岩肌は鋭利な形をしているため、「剣の山」に例えられ地獄崎と呼ばれてきました。1727年に仙台藩第5代藩主伊達吉村公が訪れ、その美しさに感銘を受けこの岬の名前を祝崎と改めました。その後、岩井崎となり今日に至っています。岩井崎では20年ほど前から遠藤伊勢治郎さんという方が江戸時代の製塩方法で塩をつくってきました。遠藤さんは残念ながら震災で亡くなってしまいましたが、その塩づくりは再興されました。現在はログハウスにて塩作り体験もできます。

● 岩井崎への行き方 ●

JR 気仙沼駅から車で25分

三陸縦貫道登米ICより車で60分

所在地 気仙沼市波路上岩井崎1-1

電話番号 0226-27-5410

[塩作り体験] 9:00~16:00 水曜定休

参加費 500円



vol.2 味わう幸せ 岩井崎の旅

「恋人」は気仙沼発祥?!

「砂の上に わが恋人の名をかけば 波のよせきて かげもとどめず」

「恋人」という言葉を近代短歌史上最初に使ったとされているのが

なんと気仙沼出身の国文学者、落合直文なのです!

今回は落合直文とそれにまつわる恋人スポット、岩井崎をご紹介します。

落合直文 (1861~1903)

十二代 鮎貝太郎平盛房の次男として出生。後に仙台中教院主・落合直亮の養子となり、伊勢神宮教院において国学、漢籍を学びました。皇典講究所、第一高等中学校、早稲田専門学校で国語学、国文学を講ずるとともに「日本文学全書」「ことばの泉」など多くの名著を上梓した、明治を代表する国文学者です。

煙雲館の庭園内には、落合直文の詠んだ「置くところ よろしきを得て おきおけば 皆おもしろし 庭の庭石」という、『適材適所』の教育用語に例えられる歌の歌碑があります。

底上げYouth

宮城県気仙沼市で2012年9月に結成した、地元の高校生による有志団体。現在は24人で活動しています。気仙沼のまちづくりを観光という切り口で考え、まちを盛り上げると同時に、参加した高校生自身が気仙沼の良さに気づき、地元をもっと好きになるような、楽しい話し合いの場を作る活動を行っています。

恋人にまつわる逸話や美しい景色など、実はたくさんの「恋人スポット」を持つ気仙沼のまち。「港と海産物のまち・気仙沼」という今までのイメージだけでなく「恋人のまち・気仙沼」という新しい側面を知ってもらいたい!という思いでご紹介してゆきます。

新たな気仙沼の恋人スポットをどんどん発掘中です! Vol.3もお楽しみに!

〈協力〉気仙沼観光コンベンション協会 気仙沼市路上観光協会 煙雲館 NPO法人底上げ
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン×さなぶりファンド こども☆はぐみファンド支援事業
〈執筆・編集〉底上げYouth 〈挿絵〉小野寺 彬 〈デザイン〉海岸 真紀子

アジコイ 味♡恋 〜二人の愛を試すとき〜

「ここは水平線がとっても綺麗に見えるんだ!」

今日、僕と雲ちゃんは岩井崎に来ていた。告白した日から僕らは何度もデートをしている。でも、今回のデートスポットはいつもとは一味違う。

実は、ここ岩井崎には恋人が別れるというジンクスがある。

え? 別れたいのって? いやいやいやいや。違うんだっけそれが。

僕らは別れのジンクスになんか負けない愛を確かめにきたんだ。

鯉が滝を登って龍になること。それを「登竜門」と呼ぶ。僕らをつなぎ合せてくれた鯉と津波を乗り越えてきた龍の松。まるで僕らに別れのジンクスを乗り越えろと言っているようなものじゃないか!

「わー!」
煙男くん、綺麗な水平線ね!」
「そうだよ、雲ちゃん気に入った?」
「ええ! とっても! ところでおにぎりを作ってきたの。一緒に食べましょう!」

雲ちゃんはすごく喜んでくれた。僕のセレクトはやっぱり良かった☆

「ありがと雲ちゃん、やっぱりおにぎりは梅干しだね!」

「え、あたしシヤケしか作って来てないわよ! どうして先に言うてくれないのよ! もう知らないから!」

雲ちゃんを怒らせてしまった。こんな事って今までなかったのに、あの別れのジンクスのせいかな?

じゃあ僕らは一体どうすれば...

「岩井崎で作る塩は「塩結び(縁結び)」の塩って言われてるんだ。」

「塩づくり体験で二人の愛もより結ばれるのよね!」

ふむふむ... っとうおおおおおっ! たまたま隣を通りがかった恋人達、ありがと!」

塩づくりをすればきっと僕らもこの危機を乗り越えて、愛を深めることができるはずだ!

「く、雲ちゃん! あつちに塩づくり体験ができる場所があるよ! い、行ってみようよ!」

完全にふてくされていた雲ちゃんが塩づくりに夢中になっている。その横顔は牡蠣のように美しい。

「煙男くん、どうしたの? かき混ぜないとこげちゃうわよ?」

「あ、うん! ありがと!」
雲ちゃんのとびつきの笑顔に僕のハートがこげちゃうよ。



塩づくりを終えた僕らは、お互いまだ暖かい塩を片手に手を繋いで、水平線に目を合わせていた。

「さっきはごめんね。これからは塩むすびにするわ。だってあなたとの塩(えん)が大切だから!」

これで僕たちの愛が深まった。これがほんとのハッピー塩(えん)だ。なんてね。



いいね! してね!

底上げYouthの最新情報はFacebookページから!

〈ゆーすっす〉



佐々木 雲
6月12日(恋人の日)生まれのA型。
好きな食べ物はさくらんぼ。
料理が趣味。赤面症。
しばしば鼻歌を歌うが、即興なので子どもっぽくなってしまう。



小野寺 煙男
5月9日(告白の日)生まれのO型。
趣味はサッカー。好きな食べ物は雲ちゃんの手作り料理(になる予定)。
爽やかな笑顔は「微笑キラスマイル」と呼ばれているが、本人は無自覚。

● 煙男
● 恋人達
● 雲